

世界と伍する スタートアップエコシステムを 構築するために

Dec 2, 2025

スタートアップエコシステム協会について

- 1 国内外のあらゆるスタートアップ関係者（スタートアップ、アクセラレーター、投資家、大学、事業会社、行政機関その他支援者等）のハブとなる。
- 2 国内外のスタートアップ関係情報を集約し、日本のスタートアップエコシステムと接続するとともに、発信を行う。
- 3 国内外のスタートアップエコシステムの状況を踏まえ、政策提言を行うとともに、エコシステム発展のためにアクションをする。

主要な活動

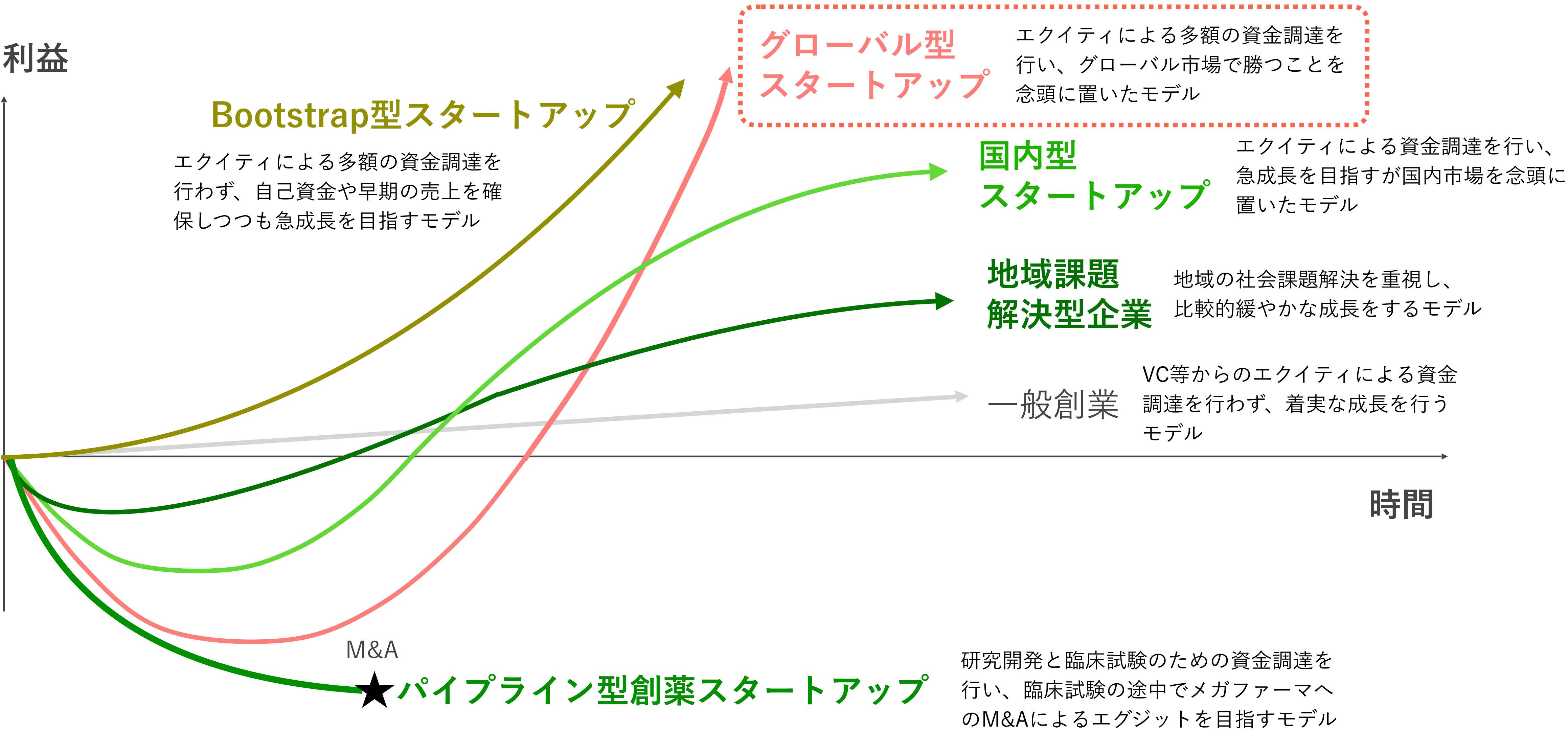


全てのスタートアップエコシステムの支援者が年に1度集まるカンファレンス。2025年は70を超える支援企業・団体・政府機関が登壇。約500人が参加。



47都道府県全てにスタートアップ政策担当者がいることから、横の連携を強化する目的で初となる全国連携のプログラムとして実施。
オンライン含めて47都道府県、73自治体から200名以上が参加。

Startups と Scaleups



なぜ”Think Global/Win Globally”が重要なのか

市場の捉え方

日本で起業するので、日本が考え方の起点

課題を解決するために、一番最適な市場を考慮して選定する。
(それが日本ということももちろんある)

ベンチマークの捉え方

日本市場でビジネス展開をするので、日本のプレイヤーだけをベンチマークする

解決する課題が日本のローカルな課題だとしても、ベンチマークとしては世界のスタートアップを捉える。単なる競合としてだけではなく、プロダクトやビジネスモデルの展開の仕方などは何らか必ず参考になる。

組織の捉え方

日本でのビジネス展開なので、日本人だけでチームを構成する。いずれグローバルに挑戦する際に、必要な組織形態を考慮する。

日本に最適化した後に、グローバルの組織に変革をしていくのは大きな時間とリソースがかかる。
・初期の頃からグローバル展開を考慮した組織構築を準備する
・共同創業者、または経営陣にグローバルで経験のあるシリアルアントレプレナーをマッチングする

Globalを知らないと、必要な成長がわからない。

根本的に”成長”のための目線を変えていかなければいけない。

